

ゆうゆうの郷 2013.1



社会福祉法人 新生会

おにしか更生園 第42号/ほっぶすてっぷ 第11号



謹賀新年



この表紙の写真たちは 2012年の出来事と笑顔です。
2013年もみんなで笑い合える年でありますように！！

年頭初志

謹賀新年

保護者並びに関係各位の皆様におかれましては、旧年中何かと保護者会事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげをもちまして計画をいたしました事業をすべて執り行うことが出来ました。保護者会研修は初めて参加いただいた方や久しぶりに参加してくれた方など参加者も多くにぎやかで有意義なものとなりましたし、翌朝、宿泊先に1名を置いて出発するといったハプニングもあり、思いで深い研修となりました。この視察研修は年々参加者が固定化されつつある状況でしたが参加者が増えたことで少々安堵すると同時に、制度が移り変わる中身を研修の中で保護者自身も感じ取ってゆく必要な場であると強く感じています。法律や制度など難しく感じるところもありますが、分からないからこそ「見て」「聴いて」「確かめて」を繰り返していくのが大切な機会として今後も研修を続けて行きたいと思っております。おにしか更生園・ほつぷすてつぷ保護者会会長 宮崎 末好

初春のお慶びを申し上げます

昨年3月に就労移行を廃止し、就労継続B型の単独事業所として再スタートを致しました。21年に新体系事業に移行し、就労移行3年間の取り組みを通して3名の就職者も出すことが出来ました。決して多くはないですが、過疎地であること、この景気が低迷している状況下で、満足できる数字ではないですが、就労移行事業所としての役割は果たしてきたものと思っております。就労継続B型に変わったからと言って、特段大きく変化したことはありませんが就労継続に課せられている目標工賃達成にむけ、目標工賃達成指導員をはじめ、職員一丸となり取り組んでいるところであります。まだまだ大きく売りが伸びている状況ではないですが3年間の取組みの中で、今年も確実に工賃の向上を図っていく方策を探り、実践していく職員集団でありたいと思っております。ほつぷすてつぷ 施設長 丸田 英一



謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年、厳寒・大雪の幕開け、計画停電に備えた夏、記憶にない猛暑の秋、師走の爆弾低気圧と自然の力に翻弄され、敵わぬ相手と畏敬の思いを深くしたところでした。当園においては、幸いにも大過なく年を送ることができました。しかし、利用者の方々の加齢からと思われる運動機能の低下や認知症の症状が散見され、平らな場所での躓きやふらつき、転倒へとつながるケースが増えています。段差の解消、手すりの取り付け、床のクッション化等々、転ばない・転んでもケガをしづらいものへと改めてきていますが、やはり温かい人の手、その質と量が最も大事な要素と考えます。「私はたれ」「自分の役割は」「そのためには」相手の心に思いを寄せて、しっかりと考え行動できる職員集団でありたいと思っております。今年の五月で開園から満二十九年。来年迎える慶節に何をと思いを巡らせて備える年でしょうか。「笑門来福」微笑ましく、おだやかな一年でありますよう、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。おにしか更生園施設長 濱野 修二

平成24年度「何でも相談」

今年度の「何でも相談」は6月に第三者委員の鳥羽さんに来て頂き開催しました。2件の相談を頂きました。1件目は現在の施設での生活の中での不満などを話され、小遣いを増やしてほしい、今の居室を変えてほしい、等の要望が出されました。小遣いの件は寮担当と話し合いをしてご本人は納得されたようです。又居室変更に関しては、他の方との調整もありませんでしたが、希望の個室にはならなかったのですが、何度か話し合いをしての変更でしたので、こちらにも納得して頂きました。2件目は高齢になり、将来に不安があり、今のうちに高齢者の施設に移った方がよいのか、悩んでいる事、又職員が時にきつい言動があり気になる事の事で

した。今度転倒し足を痛めたら歩行できなくなると医師から言われていたため、職員の過剰支援が本人に窮屈さを感じさせていたようです。ご本人の今の状態、配慮させて頂く事などを再度解り易く説明させて頂きました。言葉の掛け方なども、ご本人が不愉快な思いを持たないよう職員も今一度気を引き締め支援に当たらせて頂くよう確認しました。自分の身体が弱つてくると将来について不安になったり、心配になるのは誰にでもあり得る事です。私たちは出来る限りご本人の希望を取り入れ、最後まで安心して過ごせる環境を、試行錯誤しながらも整備してきたいと思っております。最後の時に「今まで生きて来て良かった、楽しかった」と思ってもらえるように・・・ (中田)

自治会活動



今年度も自治会メンバー6名と支援者4名で各事業に取組ましました。今年度支援者側で重点を置いたところは支援者に頼らず、自治会メンバー同士が『考えて行動する』をモットーに最大限自分の力を発揮できるよう努力する事です。まずは、『伝える』『説明する』の2点に頑張ってもらいました。しかし、この2点が彼らにとつて重い、重い課題で会議の度に四苦八苦の連続でした。確かに表現することの

難しさはありますが、話し合いを通し、反省会を繰り返すことによつて彼等なりに少しですが、『役割』『責任』等が芽生えて行つたような気がします。

今年度の最初の取組は、6月30日に行われた高齢者との茶話会です。自治会メンバーが中心になつてゲーム・カラオケ等を楽しみました。最初の企画だったため、かなり戸惑ったのが本音です。

11月10日に行つたミニバレーボール大会では体育館を使い、利用者さんと支援員の混合5チームで優勝を争い、大爆笑の一日でした。





好天に恵まれ残暑がまだまだ厳しい9月23日、恒例「ふれあい広場」が開催されました。
今年ステージを飾ってくれたのは、オープニングに相応しい迫力のある「小平麓龍太鼓」、そして、近年の出演依頼にも快く引き受けてくれる、拓殖大学北海道短期大学で結成されているYOSAKOIソーラン部「夢跳～IMERU～」の皆さん(今年は、よさこいソーラン祭りでは深川市のチームと合同で出場し、144チーム中14位という高成績を残したそうです)、また、子



供達から利用者さんまで細長い風船を使い、様々な物を作ってくれ楽しませてくれた「オロロンバルーンアートサークル」の皆さん、なんとと言っても?(笑)・・満を持して登場した?更生園の職員バンド「JIMNY〜ジムニー〜」(これはおもしろかった・・ボーカルのはずし具合が最高でした)、それと更生園・ほっぷの利用者さんで結成された「楽器隊?」の、5団体が会場を彩りで包んでくれました。

作品販売ブースでは、様々なクッションを販売していたサポートステーション「ステツ」で販売していた希望学園さん、美瑛デイセンターすずらんさん、を販売していた初山別・風連別学校さん、ほっぷのパンや牛肉品販売などがあり、多くの皆様にごを見せていました。

美味しんぼコーナーでは、更生クフルト、また、毎年ボランティアしんきん、郵便局さんなどの皆さ商店さんのべこ餅、鬼鹿ローソク、多くの皆様にご賞味頂きました。

また、毎年恒例となっている港町1区町内会の皆さんによる「流しソーメン」では長蛇の列ができ、待つ人が出るほどの賑わいを見せており、暖かい気候であったため、サッパリと美味しく味わっていただけたと思います。



今年度も、ステージを飾ってくれた方々、出店いただいた事業所の方々、ボランティアで参加いただいた地域の方々のおかげで、大盛況のうち『ふれあい広場おびら 2012』を無事終えることが出来ました。
心より感謝申し上げます。(松原)

プール旅行

10月11日から2日間、利用者さん、職員合わせて総勢22名でプール旅行へ行きました。天候はあいにくの雨でしたが雨にも負けず、北広島のアウトレットで豚丼やラーメン等、皆さん好きな物をお腹一杯食べました。

買った物が終わると、いよいよ洞爺サンパレス。プールではウォータースライダーに乗ったり波にさらわれそうになったりと大騒ぎ!良い運動になりました。運動後の宴会では豪華な食事に舌鼓を打ち、アカペラでカラオケを披露してくれる方もいたり楽しい時間を過ごす事が出来ました。

2日目は道の駅巡りです。昨日の疲れもなんのその、その地域ならではの食材やおやつを満喫しました。望洋中山はちよつと寒かったけど景色は綺麗でしたね!
2日間はあつという間でしたが、思い一杯の旅となりました。(草薙)



暑い盛りの8月下旬、総勢39名の大所帯

で、小樽・銭函方面に旅行に行ってきました。今回の目玉は、何ととっても温泉!ゆっく



り時間を使って、温泉を楽しんでいただきたいと思います、今回は朝里川温泉の老舗「安楽園」にて、露天風呂付きの客室にお泊り♪いつもの大きなお風呂でみんなワイワイも楽しいけれど、いつでも好きな時間に、自分だけのお風呂・・・は、また格別だったのではないのでしょうか。

2日目は、小樽水族館→小樽市街散策、という予定だったので、この日は30度超えの炎天下。どこにいても焦げてしまいそんな暑さ。涼しかったのは水族館とお店の中だけ。楽しかったけど、暑かった。暑かったけど、楽しかった!こんなに暑いなら、水族館でイルカと一緒に泳いで良かったかも?

次回は、かき氷持参で! 皆さんお疲れさまでした♪また行きましょうね!(福田)

札幌アリオでお買物

11月5日、買い物ツアーの旅に総勢39名元気に沿岸バスに乗り込み鬼鹿を出発しました。日頃の行いが良い為、天気も良好。初日、目指すは新千歳空港。バスにゆられる事3時間、無事に到着。離陸する飛行機を横目に、まずは昼食です。お寿司やドラえもんランチなど楽しんだ後は、スイーツや家族へのお土産など購入。もう少しゆっくりに見えたかった・・・そんな声も聞きました。その後は定山溪ビューホテルにて温泉・宴会と盛り上がりすぎました(笑)。6日、一路「アリオ」へ直行。かわいい服に帽子に靴。またまたお土産と買い物満喫しました。帰りのバスは勿論夢の中でした。「飛行機を見て、すぐ立派だなあ」と思ったけど音がうるさかった。買物は高い服を選んで買った。まだ買いたかったけどお金が足りなくなると我慢した。来年も又買い物・温泉に行きたいな。」とのことでした。(佐古)



スポーツ交流会

旭川大雪アリーナにて開催されたスポーツ交流会に参加してきました。今年は、良い天候にも恵まれアリーナ内も暖かく張りきって競技を行うことが出来ました。



今年は、昨年につづいた東日本大震災で被災した宮城県からも施設の方を招待し、とても賑やかな中で行うことができました。また、故坂本九さんの娘さんも

歌を披露してくれるなど、皆が一体となって歌って踊っていたのがとても印象に残りました。さて、競技の結果ですが、更生園の黄色組は、皆の頑張りとお応援のおかげでなんと優勝できました。帰りの車中は皆さん疲れた様子でしたが、楽しんでいた笑顔を見ると参加して良かったと感じました。来年も二連覇目指して頑張ります。

(千代谷)



保護者会研修旅行

今年の保護者会研修旅行は、総勢29名での研修旅行となりました。

研修先であるサポートステーションステップは美唄市の中心部に位置し、自立訓練(生活訓練)・就業継続支援B型事業の多機能型事業所です。

活動内容としては、(敷まつト・エプロン・抱き枕)等の製作や外注委託業務を行い、一人一人の個性を大切に、その人に合ったサービス内容を行っていました。また働く場と生産活動の場を提供することで生きがいや自信、仲間とのコミュニケーションの大切さを伝える場として取り組んでいる事業所で、利用者さんが作業に対して真剣に取り組む姿勢が印象的でした。研修の後は、小樽に宿泊。

今回は宿泊先の夕食ではなく小樽の町へ出て、ご馳走を囲みゆつくりと保護者の皆さんや一緒に参加された地元法人理事の秋野さんや苦情相談第三者委員の角谷さんと利用者さんの話や、研修での感想など話しながら楽しく交流することができました。



二日目は、ニッカウエビスキー余市工場や小樽貴賓館旧青山別邸等見学し、事故等もなく二日間の行程を終了し無事帰路につくことが出来ました。

私にとっても同じ就労系の事業を行っている施設を見学ができ実のある研修となり参加できたことに感謝です。

(赤坂)

旭川福祉専門学校との交流会

7月4日に、旭川福祉専門学校(以下福専)の方々と交流会を行いました。福専との交流会は毎年行っている恒例の行事で、利用者の方々と毎年楽しみにしている行事のひとつです。

学園内の見学から始まり、その後は利用者の方々と交流会です。自分から積極的に交流を行っている方や、横に座ってニコニコしている方等、交流会の



皆さんの表情は様々でした。福専の方々との交流は、手遊びから始まりました。利用者の方々も、福専の方々と一緒に手遊びを行い、そこには非常に楽しそうな笑顔が沢山ありました。次に行ってくれたのはペープサートでした。手遊びの時は違い、一緒に行うのではなく、話を聞きながら動きを見つめ、こちらも楽しそうに耳を傾け真剣に時に笑いながら、楽しそうに話を聞いていました。

最後は福専の方々を手を繋ぎながら、輪になってみんなで合唱を行いました。

不慣れた進行で、福専の方々を初め、多くの方にご迷惑をかけてしまいました。皆さんの手助けのおかげで、皆が楽しめた交流会を行う事が出来ました。来年も皆さんと是非このような場面が持てたら良いなと思っています。

(番場)

園内研修

11月9日に講師に自閉症・発達障がい支援センター所長である加藤潔氏を招いて研修会を行いました。参加者は新任職員から中堅職員、ケアホーム世話人まで多数の参加が



までの「？」が「！」に変わった部分がある山あったのではないのでしょうか。おにしか更生園には他のハンディキャップを抱えて生活されている利用者も多くあります。

今後必要と考えられる研修会を開催し、利用者の良き理解者として真の支援者と成り得る様、知識を得る機会を設けていきたいと考えます。

(三浦)

知恵の輪

サービス等利用計画

平成24年4月の自立支援法の改正により障害福祉サービスを利用する際にはサービス等利用計画の作成が必要となりました。

平成24・25・26年度の3年間をかけて全ての利用者がサービス等利用計画を作り、平成27年度には完全施行という予定となっています。

新規で障害福祉サービスを利用する方で福祉課からサービス等利用計画が必要と言われた方は作成が必要となります。また、現行の福祉サービスを利用している方は福祉サービス更新の際にお知らせが入ることとなります。その中に「サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案提出依頼書」が入っていたらサービス等料計画の作成が必要となります。

（利用契約作成の流れ）

■ 契約

← 利用者が指定相談支援事業者から契約したい事業者を選び契約

■ 報告

← 利用者は、「計画相談支援・障害児相談支援依頼届出書」を市町村に提出

■ アセスメント

← 自宅や利用している施設等を訪問し、目標とする生活を達成する為のニーズを把握

■ サービス利用計画書の原案作成

← 利用契約の原案を作成し、利用者の同意を得る

← 同意を頂いた利用計画案を事業者より、市町村へ提出

■ サービス受給者証の交付

← 利用計画案を提出するとそれに基づき市町村から福祉サービスの支給決定

← が降り、本人宛にサービス受給者証が届く

← 契約する事業所へ持参し、契約を結びサービスを利用開始する

その後、サービス担当者会議が開催され、関係事業所・本人・家族が参加し、利用契約書の原案の内容について説明し同意を得た上で、サービス利用計画の計画を再度確認の上、署名・捺印しサービス等利用計画の福祉サービスが実施されます。

※本単に簡単に記載をしました。

まごころこめて つくりました



ほっぷすてっぷの
めぐみ（食肉加工班）
が新十津川町にあり
ますフレーバーカン
トリー（社会福祉法

じんめい わかい さま ねが おひらうし
人明和会）様にお願ひして、小平牛 100%のウイ
ナーを作ってもらいました。

あじ しお しゅるい ようい
味はプレーンと塩コショウ味の2種類ご用意し、
とっつてもジューシーに仕上がりました。
かか かん えん ほんい げんひ しょうみくだ
価格は500円（4本入り）是非ご賞味下さい。

<お問い合わせ>

ほっぷすてっぷ 【担当：槻（けやき）】

☎0164-57-1188

【編集後記】

▽機関紙夏号ができたと思うと、もう新春号の季節・・・
▽2012年あつという間に過ぎ去り、新年を迎えそう

す。
▽更生園では、利用者の皆さんも私自身も楽しみであった
餅つきが出来なかつたことがとても残念でしたし、何より
も皆さんがお餅をほおばっている写真と記事を載せるは
ずが出来なくなつて少々あわてました。

▽2013年は機関紙で書きたい記事で選り切れなくな
るほど楽しい企画をまた用意して貰い、皆さんにお知らせ
したいと思ひます。

（高林・野原・丸田）